

PARARIA体験記 pdf



春日部東高等学校 T.Aさん

目次	
1. 基本情報	1-1 高校 (p3) 1-2 性別 (p3) 1-3 文理選択 (p3) 1-4 希望進路 (p3) 1-5 進学先 (p3) 1-6 模試の成績推移 (p4)
2. PARARIA 入会前の学習状況	2-1 生活習慣 (p5) 2-2 勉強時間 (p5) 2-3 1日のスケジュール (p5) 2-4 モチベーション (p5) 2-5 家での過ごし方 (p5) 2-6 友達との付き合い (p5)
3. PARARIA 入会後の学習状況	3-1 学習習慣 (p7) 3-2 勉強時間 (p7) 3-3 1日のスケジュール (p7) 3-4 モチベーション (p7) 3-5 家での過ごし方 (p7)
4. 各科目の各勉強法の推移	4-1 英語 (p9) 4-2 数学 (p11) 4-3 国語 (p12) 4-4 化学 (p13)
5. 志望校に関する意識の推移	5-1 軌跡 (p14)
6. 家族とのやり取り	6-1 接し方 (p15) 6-2 もらったサポート (p15) 6-3 もらいたかったサポート (p15)

1. 基本情報	
1-1 高校	埼玉県立春日部東高校
1-2 性別	男
1-3 文理選択	理系
1-4 希望進路	東京理科大学工学部経営工学科
1-5 最終進路	東京理科大学工学部経営工学科
1-6 模試の成績推移	
	以下にグラフを示す。

個人情報につき非公開

2. PARARIA 入会前の学習状況	
2-1 生活習慣	朝はほぼ毎日 6 時頃起き朝食もきちんと取っていた。朝食 大抵はご飯一杯、おかず(昨日の残りなど)と飲み物一杯。たまに食パン一枚と飲み物一杯。夜は自分の部屋で勉強をし、25 時には寝ていた。
2-2 勉強時間	平日 1~2 時間 休日 3~4 時間
2-3 モチベーション	テスト期間はそのテストでいい点数を取りたかったから。それ以外のほとんどはやらないとまずいという焦りからくる義務感 ⇒出来ないと学校の勉強について行けてないということの証明になってしまうから。クラスでは、勉強ができるキャラだったからそれを守るため。
2-4 家での過ごし方	家族と会話をしたりゲームや読書、勉強などをしていた。テレビはあまり見ていなかった。
2-5 友達との付き合い	人見知りだったので初対面の人にはあまり我を出さず、相手のペースに上手く合わせて仲良くなってから少しずつ我を出していった。 聞かれたら答える、誘われれば遊ぶというスタンスだったがそこまで友達関係では困ることはなく交友関係は浅く広いものだった。一部仲の良かった友達や同じ部活の人とはよく遊んでいた。
2-6 1日のスケジュール	
平日	6時に起きて朝食などを済ませて7時頃家を出発。 ほぼ毎日部活で20時頃帰ってきて夕飯と風呂を済ませて21時頃から22時頃までだらだらしてそこからその日の復習や明日の予習をして24時頃就寝。
休日	朝は平日と同じ。14時頃帰ってきて昼食などを済ませて、16時か17時くらいまでだらだらしたり昼寝したりする。その後夕飯(19時頃)まで勉強し、風呂に入りだらだらして20時頃から勉強再開。23時頃に終わりにして24時か25時頃までだらだらして就寝。
	以下に具体的なスケジュールを示す。

1日のスケジュール		
	平日	休日
0:00	睡眠	睡眠
1:00		
2:00		
3:00		
4:00		
5:00		
6:00	朝食、準備	
7:00	移動(登校)	
8:00	授業	
9:00		朝食
10:00		勉強
11:00		
12:00		昼食
13:00	昼食	自由時間
14:00	授業	
15:00		
16:00	部活	
17:00		勉強
18:00		
19:00	移動(下校)	夕食、風呂
20:00	夕食、風呂	勉強
21:00	自由時間	
22:00	予習、復習	自由時間
23:00		

3. PARARIA 入会後の学習状況	
3-1 生活習慣	入塾したのが4月頃。夜の帰りが遅くなり、そこから予習や復習をしていたので睡眠時間が減って寝不足気味になった。寝不足のせいで朝起きるのが辛くなりまた、学校で寝ることも増えた。勉強する習慣が以前より定着した。
3-2 勉強時間	平日 4～5時間 休日 8～10時間
3-3 モチベーション	ガントチャートに書いて決めた課題をきちんとかなすことがモチベーションになっていた。新しい教材を買ったときは新鮮味がましてやる気が出た。
3-4 家での過ごし方	塾に通い始めてから家族と話をする時間がかなり減ってしまっただ。けれど、夜遅くにも関わらず夕飯を用意してくれたり、その夕飯の時などに学校のことや塾のことなどいろいろな話をする事ができた。
3-5 友達との付き合い	以前とほぼ変わらなかったが、遊ぶ機会が減った。
3-6 1日のスケジュール	
平日	朝は6時に起きて準備をし、7時頃学校へ出発。 16時頃学校が終わりそれから塾へ行く。 22時頃(夜)に勉強を切り上げ帰宅。 23時頃家に着き夕食や風呂を済ませ24時～25時頃は自由に過ごす。 25～26時頃就寝。
休日	朝7時頃起きて準備して8時頃出発。 9時頃塾に着き勉強する。 22時頃(夜)に勉強を切り上げ帰宅。 23時頃家に着き夕食や風呂を済ませ24時～25時頃は自由に過ごす。 25～26時頃就寝。
	以下に具体的なスケジュールを示す。

1日のスケジュール		
	平日	休日
0:00	自由時間	自由時間
1:00	睡眠	睡眠
2:00		
3:00		
4:00		
5:00		
6:00	朝食、準備	
7:00	移動(登校)	
8:00	授業	
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00	昼食	
14:00	授業	
15:00		
16:00		
17:00	パラリア	
18:00		
19:00		
20:00		
21:00		
22:00	移動(帰宅)	移動(帰宅)
23:00	夕食、風呂	夕食、風呂

4. 各科目の勉強法の推移	
4-1 英語	
単語	まず5月中にターゲットを1500まで1日につき100個書いて覚えて終わらせた。そして夏休みから単語兼音読教材としてDUOをやり始めた。DUOはひとつの英文が1.7倍速で読めるようになるまで読んだ。これをしたことで英文がはやく正確に読めるようになってきた実感があったのでずっと続けた。
文法	文法はビンテージの代わりにハイパートレーニングを夏休み終了までに11周した。この時にできなかった問題に印を付け徐々に取り組み問題数を減らし、出来た問題も11周のうち4~5周はやるようにした。模試で30点くらい取れたのがこの勉強法だったのでずっと繰り返していた。
長文	長文は河合塾のマーク式基礎問題集を使って選択肢を選ぶ時に根拠を付ける練習を夏休み前にした。ひとつの長文を読んで問題を解いた後先生にその本文の和訳と、なぜその選択肢を選んだのかを発表するという勉強方法で取り組んだ。 これを行うことで問題を解く時にも自然と根拠を探すようになったので続けた。 夏休みからはビジュアル英文読解を使って根拠を持って答える解き方を1日1長文解くことで練習した。自分で解いたあと大体の和訳と根拠があっているのかを確認し、間違っていたらなぜ間違っていたのかを確認した。また、もっと正確に長文を読みたいと思い英文解釈の技術100を使って文構造について勉強した。やり方は1日1セクションを読み、ポイントに線を引いてそのセクションの最後にある和訳問題を解き、できなかったらそのもう一度ポイントを確認した。 10セクション毎に区切りそれぞれ2周した。
反省	ハイトレをやる時時間を計って、回数を重ねるごとにどんどん短くしていくという勉強法にすればよかった。英文解釈の技術100を読み物としてどんどん進めていけばよかった。
	以下に具体的なスケジュールを示す。

英語の月間参考書の推移			
月	単語	文法	長文
2			
3			
4			
5	ターゲット		
6			マーク式基礎問題集
7		ハイトレ	ビジュアル英文読解
8	DUO		英文解釈の技術 100
9			
10			
11			
12			
1			
2			

4. 各科目の勉強法の推移	
4-2 数学	<p>まず基礎を固めるために3月くらいから 数学ⅠA,Ⅱの点数が面白いほど取れる本に取り組んだ。 この時に自分は同じ問題を繰り返しといたほうが力になるということが分かり この参考書は4周した。 7月からはエッセンシャルⅠA、ⅡBに取り組みはじめ、この参考書は6周し た。ただ、何回もやるからという理由で一回一回の取り組みが甘くなってしま ったと感じた。</p>
	以下に具体的なスケジュールを示す。

数学の月間参考書の推移	
月	
2	
3	
4	
5	数学ⅠA、ⅡBの点数が面白いほど取れる本
6	
7	
8	山本俊郎の数学ⅠA、ⅡBエッセンシャル
9	
10	
11	
12	
1	
2	

4. 各科目の勉強法の推移

<p>4-3 国語</p>	<p>文転を決めた夏休みから現代文を安定して取れるようになること、古文で少しでも取れるようになるろうと思ひポイントがわかりやくまとめられていて解説ベースの参考書を購入した。</p> <p>現代文 解法のポイントを読んで理解し、問題を解いていた。ただ、そのやり方が自分に合わず浅見先生から教わったやり方のほうがしっくりきたので、1周だけしてやめた。</p> <p>古典 章ごとに区切り、重要だと思つた箇所に線を引見直しやすくして2周くらい読んだ。しかし、推薦に進路を変更したので途中でやめた。</p>
	<p>以下に具体的なスケジュールを示す。</p>

数学の月間参考書の推移	
月	
2	
3	
4	
5	
6	
7	田村やさしく語る現代文
8	マドンナ古典
9	
10	
11	
12	
1	
2	

4. 各科目の勉強法の推移	
4-4 化学	<p>来た後に夏休み中に解説ベースの分かりやすい参考書を1冊やろうと思い購入した。</p> <p>やり方としては、ただ読んでいるだけだと憶えられないと感じルーズリーフなどに要点をまとめ、何度も見直せるようにした。</p> <p>やり始めて2週間後くらいに文転を決めたため途中でやめた。</p>
	以下に具体的なスケジュールを示す。

化学の月間参考書の推移	
月	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	岡野の化学が初歩からしっかり身につく理論化学
9	
10	
11	
12	
1	
2	

5. 志望校に関する意識の推移

5-1

5月

薬剤師になりたかった。

⇒母が看護師で小さい時から風邪をひいたときや怪我をした時に助けってもらっていた。自分も将来は医療関係の仕事について人を助ける仕事がしたいと思うようになる。いろいろな医療関係の仕事がある中で薬剤師が一番かっこいいと思った。

志望校は国公立では千葉大薬学部、私立は明治薬科大だったが、学費などの問題で断念

生物が好きだったから埼玉大学や東京理科大学の生物系の学部に行こう。

⇒生物基礎の先生が面白くてわかりやすく、

授業内容の理解がどの教科よりもできて得意になったから。

化学、物理、数学などの理系科目より内容が身近に感じられ、親しみやすかったから。

6月

4年間生物関係の実験などをやり続けることに対して、そこまで生物が好きかどうか疑問に思ったことと、その先のやりたい仕事がないと考える。

7月

模試が返ってきて国語の能力が高いことが判明し、数学が伸び悩んでいて困っていた。もともと文転も視野にあったので浅見先生に相談する。

経済学などの面白さを知り文転を決意する。

志望校は明治大学の政治経済学部や國學院大学の経済学部など。

将来は公務員(安定した職業で、一般企業よりも直接的に人を助けているということが仕事内容からわかりやすかったから。)になりたいと思い始めいろいろ調べていくうちに労働基準監督官という職業を知り、目指すことにする。

9月

夏休みが終わり、担任に文転を猛反対される。

指定校推薦の候補を出される

候補 東京理科大学 理工学部 経営工学科

中央大学 法学部 法学科

↓

浅見先生や両親と相談して東京理科大学の指定校推薦を取ることに決定。

⇒推薦をとることで大学の勉強をすることができるなどの

メリットが大きかったから。

経営工学で企業の事を経営という内部から学ぶことで、将来につながると思ったから。

6. 家族とのやり取り	
6-1 接し方	進路に関して、家族は基本的に自分のいきたいところ、やりたいことを優先させてくれました。 勉強に関しても気を遣ってか、成績などについてあまり詳しくは質問されませんでした。
6-2 もらったサポート	薬学部を諦めたときに「こんな仕事が向いてるんじゃない？」とか「自分でやりたいことをきちんと見つけなさい」などの助言をしてくれるなどいろいろなサポートをしてくれました。
6-3 もらいたかったサポート	家族がもっと自分の受験に対して関心を持ってくれて、もっといろいろ聞いてくれれば良かったと思いました。